

# クラブロータリー財団委員長会議報告と 財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

**溝畑正信** (東大阪東RC)

日時：2013年11月2日(土) 14:00~16:15

場所：薬業年金会館 6F

クラブロータリー財団委員長会議が福家 宏G、大谷 透地区R財団部門顧問／地区研修委員会サブリーダー／PG、AG、AGE、地区代表幹事、財団部門地区委員の皆様など多数のご参加を頂き開催されました。

## 福家 宏 G

“Future Vision Plan = FVP”モデルがスタートした今年度、現在グローバル補助金は10件の申請があり、うち5件が承認された。これは日本34地区のうち承認件数トップであり、12月1日に東京で開催される財団地域セミナーにおいて溝畑財団委員長に発表して頂く。是非グローバル補助金に取り組み、挑戦して頂きたい。

PHSコーディネーターに辻川さんになって頂いた。当地区で、PHSメンバーに10名以上の方になって頂いて嬉しい。

ロータリーカード加入者は他地区に水を空けられている。ロータリアンは無審査で入会できるもので是非ご入会頂きたい。さらに、あと少しのところまで来たポリオ撲滅と、災害支援に協力をと挨拶されました。

## 財団部門顧問 大谷 透 PG

ロータリー財団の創設者であるアーチ・クランプは誠意と熱意の人である、Doing good in the world、その簡潔な言葉のうちにも誠意と熱意が込められている、とアーチ・クランプ物語を話され、クラブ財団委員長はロータリアンの牽引車、燃料は寄付。ロータリアンになったからには燃料の供給者に期待されている、会員に説明してほしい、リーダーシップを発揮してほしいと挨拶されました。

## ロータリー財団委員会 溝畑正信 委員長

ロータリー財団の戦略とクラブ財団委員長の役割というタイトルで、人道的・教育的プロジェクトの規模をこれまでよりも広げ、持続可能性を高めることを目的としたロータリーの新補助金モデル「未来の夢計画」がエジソン銀賞を受賞したこと、財団の戦略として、プログ



ラムを全面的に見直し、人道分野の6重点分野を提唱して、数が限定された規模の大きなプロジェクトへ資金を提供していくこと、短期的プログラムを地区へ移管し、地区補助金の改革をした。

クラブ財団委員長の務めとして、ロータリー財団の戦略と戦術を知り、財団の財務を知り、世界及び日本の奉仕活動の現状を知り、地区の補助金による奉仕活動の実情を知り、クラブ奉仕活動を先導し、年次基金寄付や大口寄付を募ること、と話しました。

## ポリオ・プラス小委員会 木村芳樹 委員長

まず、国際ロータリー発行の“Amazing Stories of POLIO!”を委員会で翻訳した冊子を配布し、地区広報委員会のテレビ大阪でのポリオキャンペーン”あと少しです。力を貸してください”の放映、ロータリーとポリオ、ポリオの現状、ソマリアでポリオ発症について話し、ロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅活動に理解と寄付の推進を要請しました。

## 財団補助金小委員会 補助金担当グループ 四宮孝郎 リーダー

FVPが導入されて補助金はどのように使われているか、制度が簡素化されたこと、世界での補助金申請状況、日本でのグローバル補助金申請状況、当地区の地区補助金・グローバル補助金について、また地区補助金の事例を説明しました。

## 寄付増進小委員会

### 今西敦之 委員長・松下一彦 委員

今西委員長はロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および使途指定寄付、恒久基金>、認証の種類、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請し、松下委員はロータリーカード利用を考える～ロータリーカード使用による効果～で説明しました。

### ポールハリス・ソサエティ 辻川功一 コーディネーター

ポールハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムであり、第2660地区では現在14名がその協力者リストであり、一層の理解と協力を要請しました。

### 財団補助金小委員会 奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループ 梅崎道夫 リーダー

今年度のグローバル補助金により留学中の2名の奨学生、福田真弓さん、宮尾真利子さん、元ロータリー平和フェローの寺西悦子さん、元国際親善奨学生の西口三千恵さん、上村雄彦さん、中村弘子さんについて話し、ロータリー平和フェローシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明しました。



### 資金管理小委員会 和氣 主 委員長

補助金資金管理チェックリストを示し、全クラブ向けおよび補助金を申請したクラブにチェックして頂くよう求めました。

なお、クラブ財団委員長会議の詳細は、地区ホームページをご覧ください。

## 「財団情報」

### ロータリー財団の補助金

<日本のGG補助金申請状況> 2013年11月13日現在

GGプロジェクト	奨学金	VTT	人道的	合計
申請書作成中	4	6	36	46
提出済	0	1	8	9
承認済	22	1	8	31

第2660地区はこのうち奨学金2、人道的3が承認済です。

<ポリオ症例数> 2013年12月10日現在のポリオ症例数

	2013年1月1日~12月10日	2012年	
アフガニスタン	11	37	
パキスタン	74	58	
ナイジェリア	50	122	
ポリオ常在国以外	チャド	—	5
	エチオピア	6	—
	カメルーン	4	—
	ケニア	14	—
	ソマリア	183	—
	シリア・アラブ共和国	17	—
	ニジェール	—	1
世界合計	359	223	

2013年12月10日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアでポリオの発症が広がっています。隣国の

エチオピアでも2006年以来、初めてポリオの発症が確認されました。この状況に対応するため国際ポリオ・プラス委員会の勧告を受け、財団管理委員長は50万ドルの補助金を支出することを承認しました。

今年が多いのは非流行国でのアウトブレイクが多かったためです。10月17日にはシリアでポリオの集団発生がありました。シリアで最後にポリオ野生株患者が発生したのは1999年でした。子どもたちをポリオから守るためには、現在その国でポリオが発生していても、ポリオワクチンの接種をしっかりとっておかねばなりません。

インドでは官民一体となったポリオワクチン接種が継続されており、2011年1月の発生を最後に、その後発生がありません。

### 2013-14年度 ロータリー財団地域セミナー (Zone1,2,3)

2013年12月1日に、ホテルグランバシビック LE DA IBAで開催されました。ここで、当地区溝畑正信財団委員長は「第2660地区でのFuture Visionへの取り組み—特にGlobal Grant」で講演しました。今年1年目で解らないことも多く、実際にグローバル補助金プロジェクトを経験した地区から、ベストプラクティスを聞きたいという要望が強い、うまくいった点や苦労した点を紹介して頂きたい、皆さんをエンハンスしてほしいとの依頼を受けました。